

HIRATSUKA KYOUKAIHOU

No.266

平塚協会報

発行所：公益社団法人 神奈川労働安全衛生協会 平塚支部
発行責任者：小山 祐司

第94回 全国安全週間を迎えて

平塚労働基準監督署長 平本 賢一

日頃から会員事業場の皆さまには、労働災害の防止及び労働者の健康確保に格別の御理解、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年も全国安全週間が展開されます。昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大防止について、いまだ厳しい状況である中で、残念ながら、労働災害もまた増加傾向にあるといった状況です。

日々、社会の状況が大きく変化していく昨今におきましては、安全活動についても、硬直的な目標を立てて突き進む方法(これも大事な方法ですが)、ではなく、状況に合わせて、対応を変化させながらすすめていくことが、より効果的なことと思われるところです。

そこで、第94回全国安全週間のスローガンは、

「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」

というものになりました。

持続可能という言葉は、昨今の世界的なキーワードとなっていますが、単に「続ける」というだけではなく、リサイクルのイメージでとらえられるものということでございます。

日頃から安全衛生業務に携わっている皆様は、労働安全衛生マネジメントシステムをご存じと思いますが、その中に、PDCAサイクルがあります。

Plan(計画して)、Do(実施して)、Check(評価・検証して)、Action(改善する)、これを繰り返し(サイクルをまわし)て、終わることなくレベルアップしていくという手法です。

持続可能というのはまさにこの方法で、PDCAサイクルをまわしながら、その時々々の社会情勢をもとり込んで、終わりのない改善を常に実施しながら、未来に向けて高めていく、ということです。

このスローガンの下で、6月を準備期間、7月1日から7日までを本週間として、展開していくこととなっております。

【災害の状況】

令和2年の労働災害発生状況につきましては、全国的に死亡災害は減りました。過去最少です。

しかし、それ以外の休業4日以上災害は平成14年以降、最多となってしまいました。

平塚地区ではどうかと言いますと、残念ながら死亡事故が2件発生してしまいましたが、その他の休業4日以上災害にあつては、2年連続の減少を維持しております。

しかしながら、令和3年1月からの平塚地区の状況につきましては、昨年に比べどの業種も大幅な増加となっております。

新型コロナウイルスによるクラスターで、一度に多数の職員が感染したために件数が増大している面もありますが、それを除いたとしても、ほとんどの業種で増加の幅が大きくなっております。

そして、これからは季節的に熱中症の危険が増大していく懸念もございます。昨年も全国で22人の方が熱中症で死亡くなりになっております。

この安全週間を機に、労働災害発生状況や熱中症の予防などについて、それぞれのお立場から、注意喚起を行っていただくなどのことにより、職場全体の安全意識の高揚につなげていただけると幸いです。

【働き方改革】

新型コロナウイルスでちょっとかすんでしまった感がありますが、変わらずに、私どもの労働行政の目下の最重点ポイントと位置づけております。

働きやすい職場づくりに取り組んでいただくことで、労働災害の防止にも繋がっていく面もございます。どうぞ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【結び】

会員事業場様におかれましては、この全国安全週間を機に経営トップによる安全への所信表明や職場の総点検等各種の行事の実施などの取組みを行うことで、労働災害防止の重要性の認識をさらに深めるとともに、周囲へもいい意味での影響を与えていただき、安全文化を醸成すべく安全衛生活動を引続き推進していただければ幸いです。

最後になりましたが、会員事業場と皆様方のますますの御発展と御健勝をお祈り申し上げます。

令和3年度 全国安全週間スローガン

『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』

全国安全週間 平塚地区促進大会

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となりましたが、今年度は6月4日(金)平塚市中央公民館大ホールにて「第94回全国安全週間 平塚地区促進大会」が、約140名の方々が参加し開催されました。本年度のスローガンは、『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』です。

陸災防神奈川県支部平塚分会の山田分会長様の開会挨拶に続き、平塚労働基準監督署長平本様、平塚市長落合様のご挨拶、平塚労働基準監督署安全衛生課長林様より本週間の趣旨・実施事項、労働災害発生状況等の説明を頂きました。

ここ数年、40歳以上の方の災害発生が増加していることや、腰痛災害が増加していること。昨年度は減少した災害が、今年度は前年同期比50%強の増加となっており、各企業で一層の安全対策の強化をお願いしたいとの要望を話されました。

特別講演として、『一途一心の野球道(みち)』と題して、元NPB審判技術指導員 山崎夏生様より講演を頂きました。

山あり谷ありの人生は自分が招いたことで、目標に向かって、怠けることなく突き進むことが大事であるとお話でした。

富士フィルムワコーケミカル(株)平塚工場 矢作 記



■労働災害発生状況 (労働者死傷病報告件数)

(令和3年5月31日現在)

		製造業	食料品 製造業 (製造業の内数)	建設業	道路貨物運送・ 陸上貨物取扱	小売業	社会福祉 施設	飲食店	その他	計
平 塚 労働基準 監 督 署	令和3年1月～5月 うち死亡災害	26 0	3 0	20 0	27 0	29 0	21 0	7 0	60 0	190 0
	令和2年1月～5月 うち死亡災害	26 0	10 0	16 0	17 0	23 0	15 0	7 0	18 0	122 0
	平成31年1月～5月 うち死亡災害	35 0	9 0	16 0	15 0	16 0	5 0	6 0	35 0	128 0
神 奈 川 労 働 局	令和3年1月～5月 うち死亡災害	313 3	101 0	206 3	387 0	326 0	380 0	119 0	865 1	2,596 7
	令和2年1月～5月 うち死亡災害	305 1	113 0	224 2	309 0	266 0	199 0	83 0	629 3	2,015 6
	平成31年1月～5月 うち死亡災害	327 0	108 0	247 3	285 1	249 0	163 0	104 0	659 0	2,034 4



「コロナ禍において」

労働衛生コンサルタント事務所 Y・カノン 矢崎 麻純

少し前に横浜の地下鉄に乗った時のことです。席に座り向いの座席の中年男性を見た時、何か違和感があり、あっと気づいたとき、近くに立っていた若い男性がその方とところに行き、何か一言、二言話しかけて、すぐに離れて行きました。座席の男性はマスクをしていなかったのです。おそらくマスクの注意であろうと思いましたが、若者のさりげない自然な行動に、なにやらほっといたしました。マスクを着用できない理由もおありかもしれませんが、人の集まるところはやはり感染防止のために欠かせないものがマスク(N95マスクに次いで不織布マスクが推奨)ですね。労働現場においては作業者が安全に働くための4つの対策として、まずは有害要因を取り除くことから始まり、次

いで工学的対策、管理的対策、そして最後に防護具があります。今、全世界の人類が地球の枠の中で見えない有害物(covid-19)にさらされています。取り除くことは今は出来ませんが、自分の身を守る対策はある程度は取れます。事務所などアクリル板や換気装置の設置(工学的対策)、こまめに手を洗う、具合の悪い人は休む、ワクチン接種等(管理的対策)、そして欠かせないものが防護具(マスク着用)です。マスクは顔のサイズに合っているか、鼻や顎の部分が顔に密着しているか、漏れはないか等正しい装着が必要です。しかし、このような対策を施しても安心はできません。3蜜ではなく、1蜜でも感染の恐れはあるとのこと。皆様くれぐれも油断なさらないように。

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

令和3年5月～9月

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

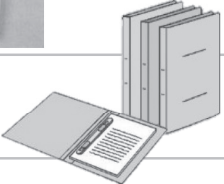
職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**1,000人**が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和3年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、□にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）		
☐	WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合したWBGT指数計を準備しましょう。 
☐	作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう余裕を持った作業計画をたてましょう。 
☐	設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、WBGT値を下げる方法を検討しましょう。また、作業場所の近くに冷房を備えた休憩場所や日陰などの涼しい休憩場所を確保しましょう。  
☐	服装などの検討	通気性の良い作業着を準備しておきましょう。身体を冷却する機能をもつ服の着用も検討しましょう。 
☐	教育研修の実施	熱中症の防止対策について、教育を行いましょう。  迷わず救急車を呼びましょう!
☐	労働衛生管理体制の確立	衛生管理者などを中心に、事業場としての管理体制を整え、必要なら熱中症予防管理者の選任も行いましょう。 
☐	緊急時の措置の確認	体調不良時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。 

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

(R3.3)



雑感

『おじさんサイクリング』

日鍛バルブ株式会社 前野 晃浩

最近、運動不足解消を理由に電動自転車を購入しました。普段、車やオートバイには乗っているのですが、人力で動かす自転車に乗ることが、かれこれ14年ぶりのため、当時より筋肉が減ったことや、判断速度の低下が有ろうと緊張しました。

こんな私が安全快適に自転車ライフを過ごすために思ったことを紹介します。無論、ベテランライダーではないので裏付けのある言論ではありませんが、最近の事故の傾向で、自転車の事故割合が増加していることもあり、みなさんの安全の気付きに少しでも寄与できればと思います。

一つ、乗る前に自分の体調を考える。この年(49歳)になって体のコリ、目の疲れなど、とっさの動き、認知の遅れなど気になるので、こうした日は速度を落として走行する。

二つ、天候の状況を確認する。服装やカッパ、水分補給など。

三つ、車両の状態を把握する。乗る頻度が少ないので、自転車の状態を確認する。ブレーキの鳴き効き摩耗、チェーンの錆動き、タイヤのエアー摩耗割れ、バッテリーの状態などの変化を見る。

四つ、交通量の多い交差点や見にくいカーブを振り返る。走行ルートが決まっている場合は、予め注意するポイントを想定しておく。

五つ、挨拶、ご近所さんに合う事がおおくなるので、元気にあいさつをする。田舎育ちもありご近所さんの声掛け

は大切に思っています。

そのほか工事通行止めやお祭りイベントなど、気にする事は様々ですが、この5カ条を思いめぐらせることが私のルーティンです。

良く走るサイクリングコースは、専ら、私の地元「真鶴町」の好きな場所を巡り四季感じる事です。某マンガ「MF○○○○」でレースの舞台では自然がいっぱい描かれ魅力が沢山伝わっておりますが、私なりのお気に入りを入れてみます。

春、やはり桜が綺麗です。新井城址公園やみよし旅館から半島側の道路、中川一政美術館付近など半島コースがお勧めです。半島では新緑と海風が疲れを忘れさせてくれます。

夏、貴船まつりは必見です。徒歩で某有名人のラーメン屋さんで一息ついてお祭り参加もおつなものです。

秋、紅葉はあまりないですが、落ち葉がいっぱいの半島ゾーンは黄昏には最適です。

冬、寒いですが、風も冷たいですが岬の三つ石と風景は、気分を一新してくれます。

こうした魅力の発見は小さいかも知れませんが、小さな目的から小さな感動を感じる事ができるので良いかなあと自己満足しています。

今もコロナ禍であるので身近なお気に入りや再発見されては如何でしょうか。

職長教育

労働安全衛生法第60条で定められた職長教育は、該当する職務に新たに就く職長、または、労働者の指揮命令を直接行う監督職を対象に実施する法定講習です。労務安全衛生協会平塚支部の主催で5月18日、19日の二日間、平塚勤労会館3F大会議室にてコロナ感染予防対策を実施し32名の方が参加して開催されました。

カリキュラムは「職長の役割・職務」「適正配置・作業手順の定め方」「災害発生時における措置」等多岐に亘ります。

職長になられる方は職場における最前線の管理監督職です。部下の作業進捗管理や体調の良し悪しなどの観察力も必要ですし、場合によっては作業内容の変更や作業者の交

代などを判断しなければなりません。受講生の皆さんが、2日間の講義を教訓とし、職長としてより高い目標を目指し、職場環境改善や安心安全な職場を作って行かれる事を期待します。(株)コベルコ マテリアル銅管 小山 記



編集後記

昨年2月に入った頃でしょうか、新型コロナウイルスの広がりを受けて日本中が緊急事態下となり、普段の生活が一変しました。去年の今頃は「来年になれば行動制限やマスク生活から解放されるかな」と密かに期待していましたが、今年も半分が過ぎようとしている今日現在でも、残念ながらまだその時は訪れておりません。

私事で恐縮ですが、現在単身赴任中です。以前はほぼ月1のペースで地元(宮崎県)へ帰省していましたが、コロナ

感染防止の観点から帰省の間隔を開けざるを得なくなりました。この紙面をお読みの中にも同じような境遇だったり、逆に県外にいるお子さんやご両親に気軽に会えなくなり、寂しい思いをされている方もいらっしゃるかもしれません。一体いつまで我慢すればいいのだろう、と考えだすと、気持ちも沈んでしまいます。漸くワクチン注射も広がりを見せてきております。もう一つの切り札は治療薬でしょうか。いづれにしても“明けない夜は無い”という言葉に信じてこのコロナ禍を切り抜きたい、そう思う今日この頃です。次号からは少しでも“コロナ”の文字が減りますように。

株式会社KELK 西久保 記